



# スポーツ熊谷

第191号

発行所 公益財団法人  
熊谷市スポーツ協会  
 発行者 富岡 清  
 TEL 048-525-6463  
 メール info@kumagaya-sport.com  
 URL http://kumagaya-sport.com  
 編集 広報専門委員会



コロナであらゆる行事が中断される中、ラグビーWC開催記念第1回熊谷市スポレクフェスティバルが11月21日(土)、22日(日)、熊谷スポーツ文化公園で延べ1000人の児童の参加のもと感染予防対策を徹底し開催された。

21日(土)の開始式で原田理央さんが「私達にできることは一瞬一瞬を大事に精一杯生き、走り抜くことです。」と選手宣誓。4年生から6年生までがリレー、駅伝競走で競った。

翌22日(日)のタグラグビー開始式では富岡体育協会会長より「コロナに負けないでほしい。万一口冠に感染しても差別することなく励まし合おう思いやりのある心を大事にしてください。」と挨拶。高橋遠真君が「コロナで多くの行事が中止になる中での開催に感謝したい。昨年のワールドカップのように頑張りたい。」と力強く宣誓。93チームが25ブロックの予選リーグを行い、各ブロック1位の25チームが午後からの決勝トーナメントに出場した。

決勝戦は6対6の同点で3分間の延長戦。小学生とは思えない息詰まるプレーにアルカス熊谷の選手や観客からも大きな拍手がわいた。



- 結果は次の通り  
 【小学生リレー】  
 4年男子 ①妻南つ子1(妻沼南)  
 ②オーバードロード(妻沼南)  
 4年女子 ①RYHR(熊谷西)  
 ②チーターガール(佐谷田)  
 5年男子 ①東りんご4(熊谷東)  
 ②江南北つばさ5(江南北)  
 5年女子 ①ハヤブサ4人組(石原)  
 ②俊足スターズ8(熊谷東)  
 6年男子 ①最強ズ(熊谷西)  
 ②rapid(熊原)  
 6年女子 ①天才チーム(熊原)  
 ②東つ子スター(熊谷東)  
 【駅伝】  
 4年男子 ①江南北走れ! 4(江南北)  
 4年女子 ①MBC5新堀(新堀)  
 ②江南北最強団4(江南北)  
 5年男子 ①江南北つばさ5(江南北)  
 ②ブラザーズ(吉岡)  
 5年女子 ①西小D(熊谷西)  
 ②江南北ミント5(江南北)  
 6年男子 ①最強スター(熊谷西)  
 ②スピードチーム(市田)  
 6年女子 ①天才チーム(熊原)  
 ②東レディース(熊谷東)  
 【タグラグビー】  
 決勝トーナメント  
 ①籠原7(籠原)  
 ②西BLACK(熊谷西)  
 ③全力!めぬま(妻沼)  
 ③ガンバ吉見(吉見)
- 予選(各ブロック1位)  
 全力!めぬま、江南北さくら5、桜JAPAN(桜木)、江南北スター4、久下ファイターズ、江南北キング4、籠原7、東つ子キラーズ!、東サunders、大麻生ワンチーム、東ファイターズ、東フル、江南北全集中4、市田バナナ軍団、吉岡アベンジャーズ、別府ゴルド、ガンバ吉見GN(成田)、西BLACK、東ビクトリーズ、新堀7、太田ギャラクシー、男沼フレンズA、K、M、A、江南北ファイヤー妻沼

**公益法人化10周年・創立102周年 体協から熊谷市スポーツ協会に**

本協会は、大正8年に熊谷町体育会として創立され、昭和22年に熊谷市体育協会に改組されました。

以後、昭和60年に県内体育協会では初の法人化、そして平成23年に公益財団法人に移行し、令和3年度に公益法人化10周年を迎えます。

そして本年4月1日に体育協会から熊谷市スポーツ協会に名称が変更されました。これにより現在シンボルマークを募集中です。

9月19日(日)に記念式典及び記念事業としてラグビーリーグのパナニックワイルドナイツの選手達によるパネルディスカッション等を予定しています。

また熊谷市スポーツ協会の歩みとして記念誌を発行予定です。



**熊谷工、13年ぶり21度目の優勝 全国選抜に出場**

県高校新人大会は3月21日(日)、熊谷ラグビー場で、熊谷工業が13年ぶり21度目の優勝を飾り、25日からの選抜ラグビー大会熊谷ラグビー場に出場した。

本大会はコロナ禍の緊急事態宣言のため無観客で開催。2日間の日程のため、選手の負担を考慮し試合は15分ハーフで行われた。

準々決勝は深谷との抽選で勝ち上がり、準決勝は川越東を25対0で退け、決勝は優勝候補の昌平との対戦となり、前半と後半の終了間際にトライを決めた熊谷工業が14対0で昌平に快勝した。

# 熊谷ラグビースクール リポビタンヒーローズカップで活躍



横須賀市ラグビースクール 対 熊谷ラグビースクール

小学生によるミニラグビーの全国大会「リポビタンヒーローズカップ」で、熊谷RSが関東大会を勝ち上がり、決勝大会への初出場を決めた。

3月27日(土) しんよソフトボールパーク、日産スタジアムで行われた決勝大会では、初戦で岡山RSに10-20、続くプレイトーナメントでも、つくしYR(福岡)に5-10で敗れたが、船川RS(秋田)に20-15、横須賀市RSに20-5で勝利し、本大会で2勝をあげた。

全国大会初出場ながらこれまでの頑張りにより、今後の大きな期待が寄せられる。



# ワイルドナイツ快進撃

2月28日(日) 熊谷ラグビー場での1年ぶりの開催となったジャパンラグビートップリーグで、パナソニックワイルドナイツは日野レッドドルフィンズ戦で9トライをあげ60対12で完勝した。

コロナウイルス感染予防のため2万4千人収容のところ、5千人以下に制限した指定席で、観客はマスクを着用し、声を出さずに拍手のみの応援となった。

ワイルドナイツは、2月20日(土)のリコー戦55対14、3月6日(土)のキヤノン戦で47対0、3月14日(日)のNTTドコモ戦で26対13。

3月28日(日) 熊谷ラグビー場でのNEC戦で62対5、4月4日(日)の神戸製鋼戦で13対13で引き分け、4月10日(土)熊谷ラグビー場のヤマハ発動機戦で55対19と奮闘している。

トップリーグの期間中、JR熊谷駅前の商業施設では、ワイルドナイツミュージアムの開設や選手等の身大パネル等を展示。また、ワイルドナイツデザインのパーナードがはためいている。



対日野レッドドルフィンズ戦

# SOMPoボールゲームラエスタに熊谷

12月13日(日) 市民体育館において熊谷スポーツコミッション、本市体育協会、日本トップリーグ連携機構等の主催により開催された。

午前中は20組の親子参加のもと「あそびバ」で色々な遊びに汗を流した。

午後からは元サッカー日本代表の鈴木啓太さんをはじめ、トップクラスの講師陣により「ラグビー」「フットボール」「バスケットボール」「バレーボール」のボールゲームに60人の児童を4組に分けて行った。

1種目40分の練習後に5分の休憩を入れ、計160分で4種目をこなすハードな内容だったが、コロナ禍の中、児童は一生懸命に楽しんでいた。



# 第35回テニストーチャレンジサッカー熊谷大会 優勝 関東選抜A

3月3日(水)〜7日(日)、スポーツ文化公園で北海道から九州までの大学選抜チームと高校選抜による9チームで大会を非公開で開催した。3チームごとの3グループに分けてリーグ戦を行い、上

①関東選抜A  
②関東C、北信越選抜  
③関東B、北信越選抜  
④九州選抜

結果は次の通り。



# 埼玉アザレア3位確定 Vリーグ男子2部

コロナ禍で様々な試合変更が余儀なくされる中、2月13日(土) 市民体育館においてVリーグの5位埼玉アザレアと8位ヴィアテンス三重の試合が行われた。

1セット目は三重のバックア

タックに翻弄され失うが、2セット目はサーブでリズムをつかむと勢いでセットを連取し、3対1で勝利した。

3月17日、Vリーグ男子2部の順位が決まり、埼玉アザレアは3位が確定した。



ヴィアテンス三重対埼玉アザレア

# 江南南 7度目の優勝 全国大会に出場

11月22日(日)、加須市SFAフットボールセンターでJFA全日本U-12全国選手権大会が行われ、江南南が決勝で新座片山FCに2-0で勝利し、2年ぶり7度目の優勝を飾った。

12月27日(日)、鹿児島県鴨池補助競技場にて行われた全国大会で、江南南は初戦、優勝チームのFCトリアネーロ町田と対戦し4-0で敗退した。



# 市民卓球教室開催

令和2年度市民卓球教室は、新型コロナウイルス感染症の影響で後期のみの開催になった。午前の部、夜間の部に分かれて1日2回、また今年度から土曜の部も前期と後期に分かれての開催となった。開催場所は熊谷市民体育館で実施された。

一般の参加者(高校生以下)は技術の向上を求める者もいれば、適度の運動を楽しむ者もいた。小・中学生、学生は技術向上以外に、友達との交流を深めるなど、和気あいあいの雰囲気の中で教室が開催された。

(橋本記)



# 熊陸ジュニアハイスクール 陸上教室開催される

3月20日(土) 熊谷スポーツ文化公園陸上競技場において市内中学1・2年生を対象とした陸上教室が熊谷市陸上協会の主催により開催された。

熊谷市内の中学生37名が参加し4月以降の競技会に向けての練習方法を熱心に学んでいた。

講師は出浦教行氏(短距離)、加藤誠也氏(ハードル)、小穴泰寛氏(走り幅跳び)、櫻井大雅氏(走り高跳び)等各種目のトップアスリートを招き指導を受けた。

【参加者の声】  
新井水姫さん(短距離)  
部活動が無くして何をしたらいいのかありませんでしたが、どのような練習をしたら良いのかがわかり今後につなげられます。  
根岸明沙さん(走り高跳び)  
初めて背面跳びをしましたが丁寧に教えてもらえ楽しく練習できました。



# 受賞に輝く

## 本協会体育功労賞



森 新一氏

氏は熊谷市ラグビーフット

ボール協会の会長として、熊谷市総合体育大会や熊谷市ラグビー祭りの企画運営を指揮し、ラグビーフットボール

## 本協会体育功労賞



関山民男氏

氏は熊谷高校・熊谷商業高校・熊谷工業高校の3校で36年の長きにわたり柔道部顧問として熱心に指導、5

## 埼玉県スポーツ功労賞



飯野幸和氏

氏は熊谷市中学校体育連盟にあって、理事長を経て、現在会長として、県中学校総合体育大会市予選会や本

## 新春バレーボール交流大会



NEWS対さつき

3月14日(日)、市民体育館において女子3チームにより大会が開催された。コロナ禍での少ない参加状況であるが、3密回避等徹底して行われた。結果は次の通り。

- ① 終会②さつき
- ③ NEWS

## 選抜大会出場 熊谷リトルシニア

3月26日(金)から30日 返すが反撃もここまでで4(火)までリトルシニア全国選 5で敗れた。



日高(北海道)対熊谷リトルシニア

## 第27回選抜高校女子サッカー

第27回選抜高校女子サッカー「めぬまカップ」は全国から27校、500人余の参加により利根川総合運動公園大野サッカー場、妻沼運動公園で無観客で開催された。



都立飛鳥B対熊谷女子

- ① 健大高崎
- ② 十文字(東京)
- ③ 文京女子
- ④ 福井工大A
- ⑤ 湘南学院
- ⑥ 神村伊賀三重
- ⑦ 神戸弘陵
- ⑧ 三重
- ⑨ 松商学園(長野)
- ⑩ 常盤木
- ⑪ 豊川
- ⑫ 聖カピタ牙愛知
- ⑬ 三重
- ⑭ 福井工大A
- ⑮ 福井工大B

## 日本陸上選手権大会(室内) 橋本悠選手(三尻中2年) 60Mで全国2位

3月17日(水)、18日(木)、第104回日本陸上競技選手権大会・室内競技が大阪城ホールで開催された。本市から出場の橋本悠選手(三尻中2年)がU-16の60mハードルで8秒14の好タイムで見事優勝に輝いた。橋本選手は昨年10月9日(金)、10日(土)熊谷スポー



## 総合体育大会体操競技の部 147名の子供たちが競い合う

新型コロナウイルス感染症で開催が危ぶまれた熊谷市総合体育大会体操競技の部が12月6日(日)市民体育館において開催された。体操教室に参加している幼児・児童など147名が出場し、保護者の声援に添えて少ない練習時間であったが、素晴らしい演技が披露された。



- ① 田村瑠珈(玉井)
- ② 梶川紘
- ③ 川口珠莉
- ④ 小女子倒立
- ⑤ 田村瑠珈(玉井)
- ⑥ 早川はな
- ⑦ 梶川紘
- ⑧ 小女子倒立
- ⑨ 高野隼輝(熊谷東)
- ⑩ 久保田朋樹
- ⑪ 岡庭大晟
- ⑫ 小男子倒立
- ⑬ 柳沢大輝(石原)
- ⑭ 松村颯真
- ⑮ 岡庭大晟
- ⑯ 高野大輝
- ⑰ 大野晃高
- ⑱ 小女子倒立
- ⑲ 梅澤奈央(熊谷南)
- ⑳ 矢島那菜
- ㉑ 田中みのり(佐谷田)
- ㉒ 松岡亜里沙
- ㉓ 新井ちあ
- ㉔ 小男子倒立
- ㉕ 河原羽音(成田)
- ㉖ 高坂和希
- ㉗ 松浦有稀也
- ㉘ 小女子倒立
- ㉙ 蝦名秀栄(熊谷西)
- ㉚ 石川流海
- ㉛ 松浦有稀也
- ㉜ 小女子倒立
- ㉝ 坂内風(玉井)
- ㉞ 鈴木亜依
- ㉟ 山口観月
- ㊱ 小女子倒立
- ㊲ 栗原莉愛(熊谷南)
- ㊳ 坂内風
- ㊴ 篠田未悠
- ㊵ 小男子倒立
- ㊶ 加藤陽斗(三尻)
- ㊷ 清水康太郎
- ㊸ 秋好翼
- ㊹ 小男子倒立
- ㊺ 加藤陽斗(三尻)
- ㊻ 秋好翼
- ㊼ 小男子倒立
- ㊽ 加藤陽斗(三尻)
- ㊾ 秋好翼
- ㊿ 小男子倒立
- ① 栗原莉愛(熊谷南)
- ② 坂内風
- ③ 篠田未悠
- ④ 小男子倒立
- ⑤ 加藤陽斗(三尻)
- ⑥ 清水康太郎
- ⑦ 秋好翼
- ⑧ 小男子倒立
- ⑨ 加藤陽斗(三尻)
- ⑩ 秋好翼
- ⑪ 小男子倒立
- ⑫ 加藤陽斗(三尻)
- ⑬ 秋好翼
- ⑭ 小男子倒立
- ⑮ 加藤陽斗(三尻)
- ⑯ 秋好翼
- ⑰ 小男子倒立
- ⑱ 加藤陽斗(三尻)
- ⑲ 秋好翼
- ⑳ 小男子倒立
- ㉑ 加藤陽斗(三尻)
- ㉒ 秋好翼
- ㉓ 小男子倒立
- ㉔ 加藤陽斗(三尻)
- ㉕ 秋好翼
- ㉖ 小男子倒立
- ㉗ 加藤陽斗(三尻)
- ㉘ 秋好翼
- ㉙ 小男子倒立
- ㉚ 加藤陽斗(三尻)
- ㉛ 秋好翼
- ㉜ 小男子倒立
- ㉝ 加藤陽斗(三尻)
- ㉞ 秋好翼
- ㉟ 小男子倒立
- ㊱ 加藤陽斗(三尻)
- ㊲ 秋好翼
- ㊳ 小男子倒立
- ㊴ 加藤陽斗(三尻)
- ㊵ 秋好翼
- ㊶ 小男子倒立
- ㊷ 加藤陽斗(三尻)
- ㊸ 秋好翼
- ㊹ 小男子倒立
- ㊺ 加藤陽斗(三尻)
- ㊻ 秋好翼
- ㊼ 小男子倒立
- ㊽ 加藤陽斗(三尻)
- ㊾ 秋好翼
- ㊿ 小男子倒立

## 埼玉県中学校新人体育大会 柔道の部 県大会3位入賞

埼玉県中学校新人体育大会が令和2年11月9日(月)10日(火)埼玉県立武道館で開催され、地区予選を勝ち抜いた男子2名、女子7名が個人試合、妻沼東中女子が団体試合に出場した。個人試合では本市柔道教室出身者が活躍し、2名が3位入賞を果たした。団体試合は初戦を勝ち上がったが第一シードの壁は厚くベスト16に終わった。



(山崎記)

## 勤労感謝の日バレーボール大会

11月29日(日)市民体育館において女子12チームの参加で開催された。チーム数を制限し、コート面を減らし、3密を回避した大会となった。結果は次の通り。

- 女子1部
- ① 終会
- ② さつき
- 女子2部A
- ① NEWS
- ② ピースV



union対PEACE

### 第22回全国高校選抜ラグビー大会 東福岡が優勝 準優勝は桐蔭学園(神奈川)

3月25日(木)から31日(水)まで熊谷スポーツ文化公園において全国9地区から32チームの参加により開催された。25日(木)1回戦、26日(金)2回戦及びブロンズレシジョン(敗者戦)、28日(日)準々決勝、29日(月)準決勝、31日(水)決勝戦が行われた。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開会式は中止、無観客試合となった。

31日(水)の決勝戦は東福岡が桐蔭学園(神奈川)を46対31で退け、4大会ぶり6度目の優勝を飾った。

3位は大塚桐蔭(大阪)と東海大(愛知)の仰星(大阪)となった。開催県代表として11大会ぶりに出場した熊谷工業は、1回戦で全国大会8強の中野大春日丘(愛知)に7-38で敗れるも、ブロンズレシジョンで函館ラサールに26-10で勝利し、花園に向けての成長が期待される。



桐蔭学園 対 東福岡



### 第15回全国中学生空手道選抜大会

3月28日(日)〜30日(火)、第15回全国中学生空手道選抜大会が長野県立武道館で開催され、中1男子組手の部に栃金勇風選手(大幡中1年)が出場した。全国から738名が出場し、コロナ対策のため観戦は各県4名まで、健康チェックシートの提出、声を出しての応援の禁止、I/Dによる入退場など徹底した対策が実施された。

栃金選手は試合を振り返り「一回戦で敗退と残念でしたが精一杯できた。静かな会場で試合前の気持ち作りに苦労した。このようなかで大会に送り出してくれた方々、応援してくれた皆さんに感謝です。来年も代表になれるように頑張りたい。」

今後の活躍に期待したい。



### 第43回熊谷地区剣道錬成大会

3月6日(土) 市民体育館で第43回熊谷地区剣道錬成大会を開催した。新型コロナウイルス感染症拡大で、昨年春から始まった行事の自粛が続いていたが、この度、人数の制限、家族を含む週間の体調管理、当日入館時の検温、密を避けた試合運営など、連盟として最大限の防止策を講じたうえで、約1年ぶりの大会開催ができた。今後とも今までの大会開催ができた。今後とも今までの大会開催ができた。今後とも今までの大会開催ができた。

大会開催ができた。今後とも今までの大会開催ができた。今後とも今までの大会開催ができた。



6年生個人戦

### 新春ソフトバレー交流大会

3月28日(日)市民体育館において16チームの参加により三密回避で大会が開催された。

本大会は電子ホイッスルを使用して飛沫防止を図った。

結果は次の通り。

一般の部  
①COLOR ②ラクーン  
マスターズの部  
①ボンコツ ②MSC  
レディースの部  
①TIACT



K.REDS 対 ヘッジホッグス

### 春季テニスダブルス大会

4月4日(日)10日(土)11日(日)の三日間に渡り春季ダブルス大会がさくら運動公園テニスコートを会場に開催された。

今大会は年度当初の大会であり県大会出場の手選にも兼ねており選手には大切な大会となつている。

コロナが十分収まっていないうちでの開催であるため、受付前の手指の消毒や検温、会場に感染予防の注意書きを張り出すなど感染防止に努めた。

参加者は例年に比べ少なかつたが全員久しぶりの大会を十分楽しんでいた。結果は次の通り。

男子ダブルス(23組)  
①松本柳井(ZERO)  
②佐向・舟橋(ZERO・BS TC)  
③広永・池田(BSTC・M & P)  
④佐藤・菊地(T-2000)  
女子ダブルス(26組)  
①田沼田沼(TSA)



桜満開のもとでのダブルスの熱戦

### クラウン・ゴルフ定例会

4月12日(月)熊谷スポーツ文化公園において、令和3年度第1回定例会が開催された。参加者331名が「3密」を避けるために、ドームと補助競技場を使って競技を行った。各会場で16ホールをプレーし、休憩した後、別の会場に移動して更に16ホールをプレーした。久しぶりの定例会は好天にも恵まれて、皆がいきいきと仲良く、楽しみなが打数を競っていた。

男子の部  
①小杉賢三(みずぎ)  
②大沢俊雄(さわやか)  
③山内道夫(リズム)

女子の部  
①橋本フヂエ(モンティ)  
②滝沢里子(つばき)  
③小久保由枝(大幡GGC)

(土田記)



### 追悼 松沢岳範士八段

(令和2年9月14日逝去)  
先生は15歳で熊商弓道部に入り以後70年弓道が続けられた。その間団体・全日本選手権大会等で活躍される一方、全弓連の役員として国内のみならず海外でも指導普及に尽力した。

また埼玉県弓道連盟会長として埼玉国体開催にあたり県内の弓道場及び武道館の建設推進に尽くした。

さらに平成3年国体の関東選手権大会会場として、熊谷さくら運動公園内に当時県下一の弓道場の建設推進に尽力した。

弓道の発展及び普及のため日々後進の育成に努め、亡くなる2週間前まで道場に通り指導に当たられた。

今年の12月に追悼射会を行う予定です。(手嶋記)



### あとがき

奇跡の復活劇  
コロナの憂鬱な気分を吹き飛ばし、胸が熱くなるような感動を覚えた。ありがたう。

池江選手は白血病との闘病生活を経て、本格復帰から8ヶ月後の選手権で4冠になり五輪の2種目出場を決めた。闘病とリハビリ、強化トレーニング・・・人間の強さを思い知る。「努力は必ず報われる。」という言葉が燃然と輝く。

大関照ノ富士は両膝故障と内臓疾患により序二段まで陥落しどん底を味わう。何度も引退を申し入れたが親方に強く慰留され病を治しながら稽古の日々。自分を支えてくれた方々への感謝と恩返しにバネになり、強い精神力で昇進し、この度大関に復帰。

池江選手も照ノ富士も二回目のチャレンジを楽しんでいる。これからの一挙手一投足は大きなパワーと勇気を私達に与えてくれるに違いない。その時が待ち遠しい。